

空家の総合案内窓口と専門家団体の相談窓口の連携強化の状況

空家の総合案内窓口と専門家団体の相談窓口の連携強化

短期（令和7～8年度）での対応

■相談カルテによる相談内容・結果の引継ぎ

下記の流れで相談者からの相談内容・結果を引き継ぐことを検討・調整する。

- ①総合案内窓口で受けた相談内容をまとめたカルテを、紹介した専門家団体にメールで引き継ぐ。（専門家団体を紹介する場合は、氏名や連絡先を聞く。）
- ②専門家団体は、総合案内窓口からの紹介で相談に来た相談者からの相談対応結果をカルテに記載し、総合案内窓口にメールでフィードバックする。
- ③総合案内窓口は、相談結果を見て、他の専門家団体の紹介や追加の助言等が可能な場合は、相談者に連絡し、紹介や助言等を行う。

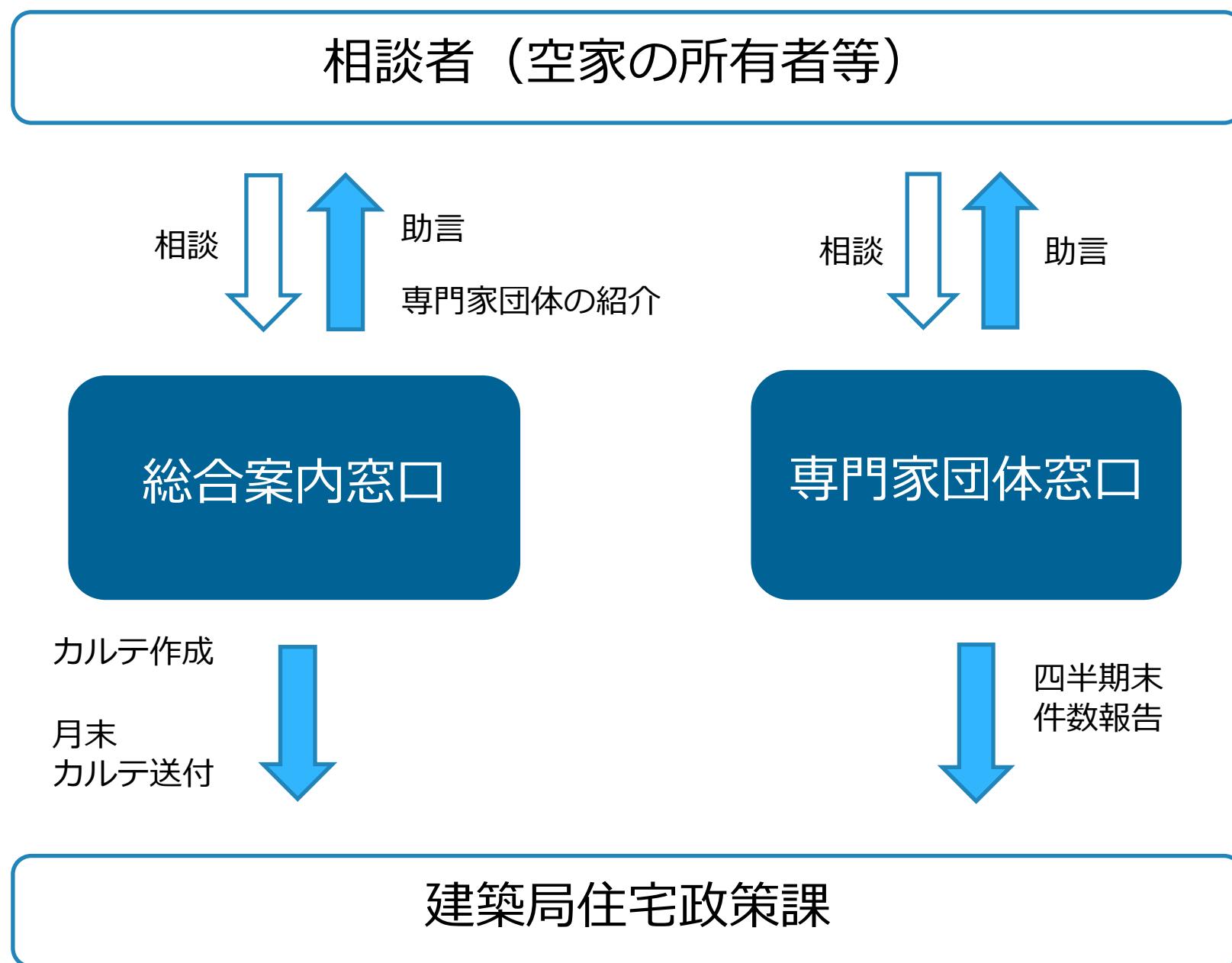
■web上の相談内容入力フォームの構築

公社「住まいいるイン」のホームページ内に、相談内容の入力フォームを構築することを検討・調整する。

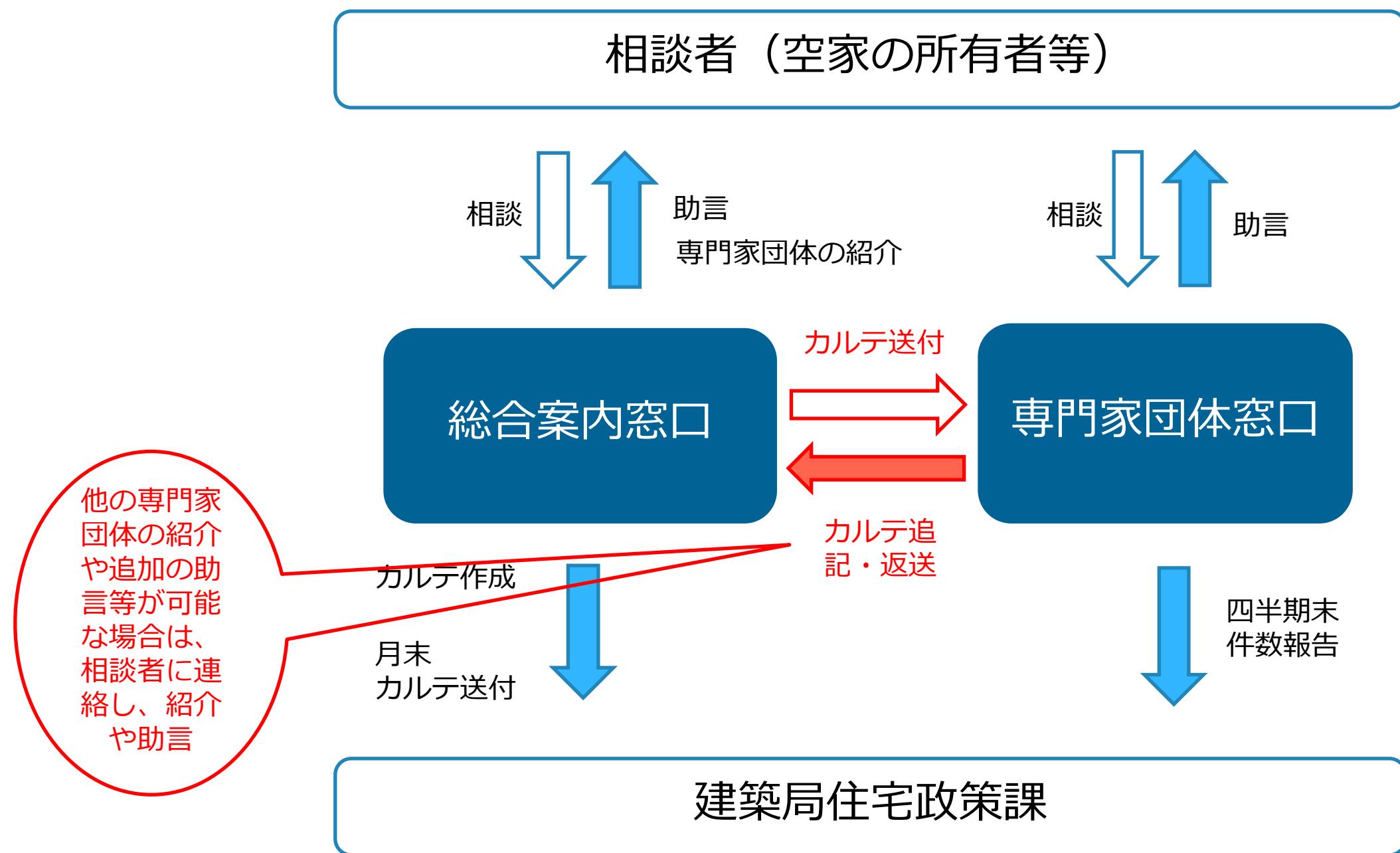
【入力内容のイメージ（※は必須）】

- 氏名※、メールアドレス※、電話番号、居住地（市・区名）
- 空家所在地（郵便番号※、市・区・町名※、それ以降）
- 相談したい項目（選択肢から選択）※、具体的な相談内容※
- 相談したい専門家（わかれれば）

現行の運用（専門的な相談）



見直し後（令和7年6月～）の運用（専門的な相談）



令和7年度

- ・相談内容入力フォームの入力項目の検討
- ・横浜市住宅供給公社のホームページの改良方法の検討

令和8年度

- ・横浜市住宅供給公社のホームページの改良
- ・相談内容入力フォームの運用スタート